

献辞（津川正幸博士古稀記念論文集）

著者	加勢田 博
雑誌名	関西大学経済論集
巻	45
号	6
発行年	1996-03-10
URL	http://hdl.handle.net/10112/14019

津川正幸博士古稀記念論文集

関西大学経済学会

津川正幸先生に捧げる

献 辞

関西大学は今年創立110年を迎える。この長い歴史の中でも、昭和30年代以降の40年間は本学にとって正に激動の時代であったといえよう。関西大学がしたがってまた経済学部・経済学会が目を見張るような変化と成長を遂げた時代を、その歴史とともに歩んでこられた津川正幸教授はこの3月に古稀を迎えられ、定年退職されることになった。「人生七十古来稀」といった杜甫の時代とは違って、古稀とは言っても多くの人々が社会の第一線で活躍されておられる。津川先生もその中のお一人であられるのだが、大学の定めで退職されることでもあるので、一つの区切りとして、また先生の本学会に対するこれまでの御貢献に感謝申し上げる気持ちを表す意味からも、専攻を同じくする会員をはじめ先生とのご縁の深い方々の秀れた論文を古稀記念号としてまとめ発行することにした。

ここで改めて紹介するまでもなく、津川先生は学内外で要職を歴任される一方、研究生活においてはその初期の頃から大阪堂島米商会所の研究に関心を持っておられたようで、その後この分野を中心にして多くの秀れた成果を次々と発表され、わが国近世経済史の研究で重要な位置を占める米会所研究の第一人者として活躍されている。学界で高い評価を受けた『大阪堂島米商会所の研究』（平成2年）は先生の代表作の一つである。まだ未整理の原資料を山のように抱えているとおっしゃって、研究への意欲益々盛んとお見受けしているので、今後もさらに多くの成果をわれわれに御教示下さるものと思う。

会員一同心より津川先生の古稀をお祝いし、今後の御健勝をお祈りするとともに、これからも本学会の発展のために御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます次第である。

1996年1月10日

経済学会会長 加勢田 博